

N-アッセイ ニットーボー

L CPK-S

体外診断用医薬品

血清又は血漿中のクレアチンフォスフォキナーゼ測定用試薬

- ▶▶ ダブルカイネティック法により赤血球中のアデニレートキナーゼの影響を受けにくくなっています。
- ▶▶ JSCC標準化対応試薬です。
- ▶▶ 測定範囲 4 ~ 2,000U/L

N-アッセイ LCPK-S ニットーボー

【測定原理】

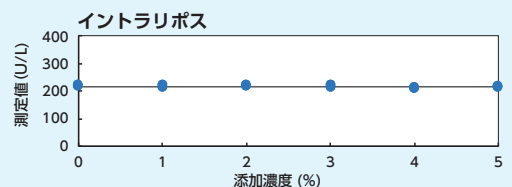
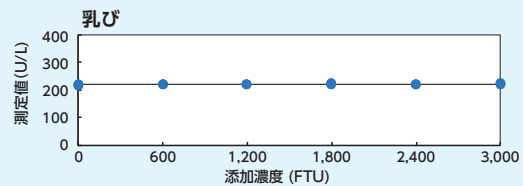
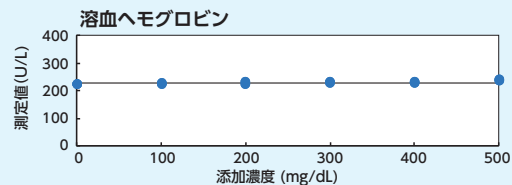
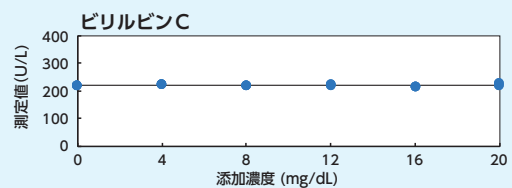
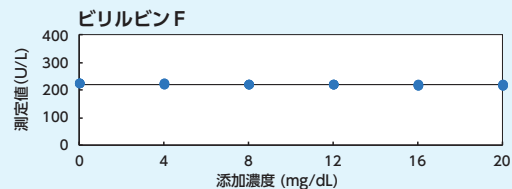
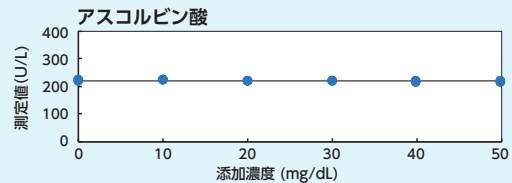
検体中のクレアチンフォスホキナーゼ (CPK) は、アデノシン-5'-リン酸 (ADP) とクレアチンリン酸を基質として、アデノシン-5'-三リン酸 (ATP) とクレアチンを生成します。生成したATPはグルコースと共にヘキソキナーゼ (HK) の作用によりADPとグルコース-6-リン酸になります。グルコース-6-リン酸は、グルコース-6-リン酸脱水素酵素 (G-6-PDH) の作用により、6-フスフォグルコン酸に変換され、それと同時に酸化型ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリン酸 (NADP) は還元型ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリン酸 (NADPH) に変わります。このNADPHは340nmに吸収極大を有しますので、この吸光度の増加速度を測定して検体中のCPK活性を求めます。

〔日立7180形自動分析装置にて測定〕

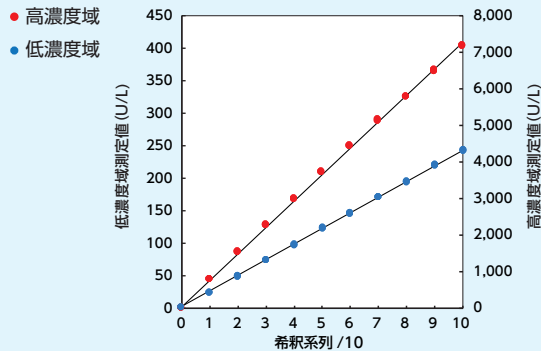
同時再現性

検体 I (U/L)		検体 II (U/L)	
データ数	20	データ数	20
平均値	153.9	平均値	333.7
最大値	156	最大値	337
最小値	151	最小値	330
範囲	5	範囲	7
標準偏差	1.6	標準偏差	2.0
変動係数	1.04%	変動係数	0.59%

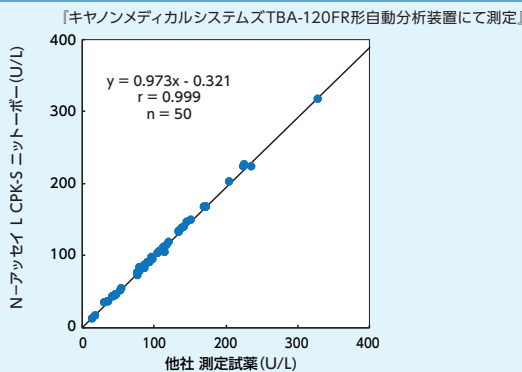
共存物質の影響



直線性



相関性



キット構成・包装単位

	キット構成		包装単位
R-1	酵素試液	ADP・カリウム塩、β-NADP、ヘキソキナーゼ、グルコース-6-リン酸脱水素酵素、グルコース	60mL×4
R-2	基質液	クレアチンリン酸・ニナトリウム塩、グルコース	15mL×4

貯法・有効期間

貯法	2～10℃で保存
有効期間	製造後1年間

製造販売元： **ニットーボーメディカル株式会社**

〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字塩島1番地

問い合わせ先： **ニットーボーメディカル株式会社**

TEL.03-4582-5420 FAX.03-3238-4591